

# 弥生時代後期竪穴住居の研究（4）

弥生時代研究プロジェクトチーム

## はじめに

今回は逗子市・横須賀市・三浦市・鎌倉市・藤沢市・寒川町・茅ヶ崎市・座間市内における竪穴住居の集成と分析を行い、特徴の把握を行った。座間市内には対象となる遺跡が存在しなかった。今回の対象は相模川の東側から三浦半島まで広い地域を対象とするため、地形的な特徴を考慮し、大きく二つの地域に分割して集成・分析を行う。具体的には、地形的に多摩丘陵の中でも大起伏を特徴とする三浦丘陵を境界として東西に地域を分割することとした。河川としては滑川流域を境とする。本稿では滑川流域から西側を三浦地域（第1図1～14）、東側を湘南地域（第1図15～44）、として便宜的に呼称する。

今回の執筆・編集はプロジェクトメンバーによる検討結果に基づき、池田、飯塚、戸羽が行った。

## 湘南地域・三浦地域における竪穴住居跡の特徴

### 帰属時期別住居軒数

**帰属時期**：湘南地域で集成した竪穴住居跡426軒の帰属時期は後期：311軒、庄内併行期：60軒、不明：55軒である。三浦地域で集成した竪穴住居跡465軒の帰属時期は後期：401軒、庄内併行期：35軒、不明：29軒である。

### 住居形態など

**平面形態**：湘南地域では後期の311軒中、最も多いのは隅丸（長）方形181軒で、以下楕円形56軒、円形9軒、（長）方形7軒、不整形3軒となる。平面形態不明は55軒である。庄内併行期では60軒中、隅丸（長）方形が39軒、（長）方形が9軒、楕円形2軒、円形1軒、不整形1軒、不明8軒となる。

三浦地域では後期の401軒中、最も多いのは平面形態が隅丸（長）方形251軒で、以下楕円形52軒、円形9軒、（長）方形5軒、楕円形の可能性があるもの5軒、不整形2軒である。平面形不明のものは77軒である。庄内併行期では35軒中、隅丸（長）方形が20軒、（長）方形6軒、楕円形4軒、円形1軒となる。平面形不明のものは4軒である。

後期・庄内併行期ともに、短軸方向上に炉跡が存在する住居（短軸住居）が存在する。湘南地域では後期5軒、庄内併行期2軒、三浦地域では後期に4軒確認されている。

**長短率**：湘南地域において、後期で算出できたのは85軒で、基本統計量は最大140.6、最小80.2、平均110.9、中央値108.8という値を示した。庄内併行期で算出できたのは25軒で、基本統計量は最大154.3、最小75.7、平均111.0、中央値110.0という値を示した。

三浦地域において、後期で算出できたのは94軒で、基本統計量は最大146.3、最小87.8、平均107.3、中央値107.6という値を示した。庄内併行期で算出できたのは11軒で、基本統計量は最大163.8、最小101.6、平均114.6、中央値112.9という値を示した。

**方形指数**：湘南地域において、後期では95軒算出できた。方形指数20～30未満22軒と最も多く、次いで30～40未満21軒、10～20未満18軒と続く。方形指数0～50未満に集中する。庄内併行期では21軒算出できた。

方形指数50～60未満が7軒と最も多く、20～30未満が6軒、40～50軒が3軒と続く。方形指数20～60未満に集中する。

三浦地域において、後期では113軒で算出できた。方形指数20～30未満33軒と最も多く、次いで10～20未満23軒、40～50未満15軒と続く。方形指数10～60未満に集中する。庄内併行期では12軒で算出できた。10～20未満6軒と最も多く、20～30未満が2件と続く。方形指数10～30未満に集中する。

**主軸方位**：北東方向（N-○°-E）または北西方向（N-○°-W）を0～90°の間で角度を計測し、10°ごとに集計を行い、グラフ化した。円が角度を、軒数を各角度の軸で示している。湘南地域において、後期に北東方向を主軸とする住居跡は43軒あり、0°以上～10°未満が6軒、10～20°未満・20～30°未満・30～40°未満がそれぞれ7軒、60～70°未満5軒、70～80°未満6軒と、0°以上40°未満および60°以上80°未満に集中する。北西方向を主軸とする住居跡は142軒あり、50°以上～60°未満29軒、40～50°未満・60～70°未満・70～80°未満がそれぞれ21軒、80～90°未満20軒と、40～90°未満に集中する。

また、真北（0°）を主軸とする住居跡が1軒存在する。庄内併行期に北東方向を主軸とする住居跡は10軒あり、30～40°未満3軒、40～50°未満が2軒、70～80°未満2軒が主な分布である。北西方向を主軸とする住居跡は21軒あり、40～50°未満が5軒、60～70°未満・70～80°未満がそれぞれ4軒、80～90°未満3軒に主に分布する。

三浦半島地域では、後期に北東方向を主軸とする住居跡は21軒あり、0°以上～10°未満が6軒、10～20°未満が5軒、20～30°未満3軒と、0～30°未満に集中する。北西方向を主軸とする住居跡は87軒あり、20～30°未満15軒、30～40°未満25軒、40～50°未満が17軒と、20～50°未満に集中する。また、南東方向を主軸とする住居跡70～80°未満が1軒確認されている。庄内併行期で北東方向を主軸とする住居跡は2軒で、10～20°未満が1軒、50～60°未満が1軒である。北西方向を主軸とする住居跡は30軒で、10～20°未満5軒、20～30°未満5軒、30～40°未満7軒と、10～40°未満に集中する。

**主柱穴**：住居の主柱穴本数が確認できたものについて集計した。なお、軒数には柱穴配置により、本数が推定可能な遺構を含む。湘南地域において、後期では173軒中、主柱穴4本の住居が119軒で約69%、次いで主柱穴0本の住居が50軒で約29%の割合を占める。庄内併行期では32軒中、主柱穴4本の住居が22軒で約69%、主柱穴0本の住居が9軒で約28%の割合を占める。

三浦半島地域では、後期260軒中、主柱穴4本の住居が251軒で約97%の割合を占める。三浦市赤坂遺跡14次調査B2地点2号住居址は主柱穴9本である可能性がある。庄内併行期では28軒中、主柱穴4本の住居が27軒で約96%の割合を占める。

### 地形と立地

**分布する地形面**：湘南地域では、後期・庄内併行期ともに台地の分布が主体であるが、藤沢市や茅ヶ崎市、寒川町では砂丘や低地の遺跡が散見される。三浦地域では、後期、庄内併行期ともに台地・丘陵に分布する。

**水系**：湘南地域の後期では311軒中、引地川水系に132軒、相模川水系に95軒、境川水系に83軒分布する。庄内併行期では60軒中、境川水系に26軒、引地川水系に22軒、相模川水系に11軒分布する。

三浦地域の後期では401軒中、前田川・松越川水系に258軒と集中して分布する。次いで、平作川水系に37軒、滑川水系に19軒に分布する。庄内併行期では35軒中、前田川・松越川水系に27軒分布する。

### 住居付帯施設

**炉跡**：湘南地域において、後期311軒中178軒で確認されている。その内訳は地床炉131軒、枕石炉21軒、

枕粘土炉4軒、粘土板炉22軒である。1つの住居跡に炉が2基以上存在する住居は14軒存在する。枕石炉は茅ヶ崎市臼久保遺跡で8軒、粘土板路は藤沢市石名坂遺跡第7次調査で16軒確認されている。

庄内併行期では60軒中31軒で確認されており、その内訳は地床炉25軒、枕石炉1軒、粘土板炉5軒である。1つの住居跡に炉が2基以上存在する住居は3軒存在する。粘土板炉は藤沢市稻荷台地遺跡群C・D地点、F地点で合計5基確認されている。

三浦半島地域では、後期401軒中278軒で確認されている。その内訳は地床炉129軒、枕石炉140軒、枕粘土炉1軒、粘土板炉5軒である。枕石炉は三浦市赤坂遺跡、横須賀市高原遺跡で数多く確認されている。粘土板炉は鎌倉市大倉幕府周辺遺跡で5軒見つかっている。1つの住居跡に炉が2基以上存在する住居は28軒存在する。庄内併行期では35軒中25軒で確認されており、その内訳は地床炉11軒、枕石炉12軒、枕粘土炉2軒である。1つの住居跡に炉が2基以上存在する住居は5軒存在する。

**入口穴・梯子穴**：湘南地域において、後期に33軒で入口穴が、3軒で梯子穴が確認されている。庄内併行期に4軒で入口穴が確認されている。

三浦地域において、後期に37軒で入口穴が、10軒で梯子穴が確認されている。庄内併行期に15軒で入口穴が、1軒で梯子穴が確認されている。

**貯蔵穴**：湘南地域において、後期に31軒で確認されている。そのうち周堤を有するものは4軒、複数基あるものは1軒である。庄内併行期には6軒確認されているが、周堤を有するものや複数基あるものはない。

三浦地域において、後期では178軒で確認されている。このうち周堤を有するものは66軒、複数基あるものは32軒である。庄内併行期では20軒で確認されており、このうち周堤を有するものは9軒、複数基あるものは1軒である。横須賀市船久保遺跡Y2号住居跡では周溝を伴う貯蔵穴が1基確認されている。

**周溝**：湘南地域において、後期で全周するものは35軒（11.3%）、部分的に存在するものは43軒（13.8%）、存在しないものは83軒（26.7%）、不明は150軒（48.2%）である。庄内併行期で全周するものは7軒（11.7%）、部分的に存在するものは4軒（6.7%）、存在しないものは14軒（23.3%）、不明は35軒（37.6%）である。

三浦地域において、後期で全周するものは138軒（34.4%）、部分的に存在するものは137軒（34.2%）、存在しないものは116軒（28.9%）、不明は10軒である。庄内併行期では35軒中、全周するものは15軒（42.9%）、部分的に存在するものは7軒（20.0%）、存在しないものは11軒（31.4%）、不明は2軒（37.6%）である。

#### 住居廃絶など

**拡張**：湘南地域において、後期で19軒、庄内併行期で4軒確認された。このうち2回以上拡張されているものは存在しない。茅ヶ崎市臼久保遺跡で後期5軒、寒川町高田南遺跡で後期3軒が確認されている。

三浦地域において、後期で22軒、庄内併行期で4軒確認された。このうち2回以上拡張されているものは存在しない。横須賀市高原遺跡で後期14軒、同市三足谷遺跡で後期3軒が確認されている。

**焼失**：湘南地域において、後期で46軒確認されており、そのうち炭化物や焼土などが検出されているのは22軒である。茅ヶ崎市臼久保遺跡で14軒、藤沢市稻荷大地遺跡群F地点で6軒、同市石名坂遺跡第7次調査で3軒、同市二伝寺砦遺跡で4軒、同市清水遺跡で5軒が見つかっている。庄内併行期で9軒確認されており、そのうち炭化物や焼土などが検出されているのは3軒である。

三浦地域において、後期で20軒確認されており、そのうち炭化物や焼土などが検出されているのは13軒である。庄内併行期で5軒確認されており、そのうち炭化物や焼土などが検出されているのは3軒である。

**埋没過程**：大半が自然作用による埋没であるが、後期で人為的に埋め戻されている住居が一定数存在する。

湘南地域では、後期12軒、庄内併行期で2軒確認されている。後期12軒のうち、藤沢市渡内遺跡で4軒、寒川町高田南遺跡で10軒確認されている。

三浦地域では、後期7軒、庄内併行期で1軒確認されている。横須賀市高原遺跡・高原北遺跡では後期7軒のうち5軒が確認されている。

#### 出土遺物

**遺物**：出土遺物で主体となるのは土器類、石器類であるが、ここではそれ以外に特徴のある遺物を出土した住居跡を列挙する。

**後期：湘南地域**：藤沢市稻荷大地遺跡群F地点35号住居址：メノウ原石・方口銭状鉄製品、同市石原谷遺跡第3地点2・5・6・24号住居址：ミニチュア、同市石名坂第7次調査2号住居址：ミニチュア・ガラス小玉、同遺跡5号・9号住居址：ミニチュア・焼成粘土塊、同遺跡第10・12・14号住居址：焼成粘土塊、同遺跡第16・26号住居址：炭化桃果核、同市二伝寺砦遺跡5号住居址：円盤状土製品、同遺跡6号住居址：ガラス小玉、同遺跡16号住居址：甌、若尾山遺跡藤沢市大道小学校内地点第13号住居址：土製紡錘車、同市清水遺跡第301B号竪穴住居跡：土製紡錘車、同遺跡第304号竪穴住居址：鉄製刃物、同遺跡第315号竪穴住居址：有孔輕石製品、同遺跡第411号竪穴住居址：有孔円盤、茅ヶ崎市臼久保遺跡Y15号住居跡：土製紡錘車、同遺跡Y36号住居跡：ガラス小玉、寒川町倉見才戸遺跡第3次調査2号住居跡：三角形板状鉄片、棒状鉄片、同町倉見川登遺跡4区9号住居跡：管玉

**三浦半島地域**：三浦市赤坂遺跡14次A地点6・8号住居址：ガラス小玉、赤坂遺跡14次B1地点5A住居址：銅鏃、同7号住居址：鉄鋤片、同市赤坂遺跡10次1A号住居址：石剣・銅鋤・鹿角、同5号住居址：不明鉄製品、9号住居址：銅環破片、同市赤坂遺跡11次2A号住居址：ガラス小玉、同6C号住居址：板状鉄斧、横須賀市高原遺跡Y2A・6・7A・8・11・20・43・50・102・107・123・141・177・178・200・217・225・227・235・237B・238・250・265号住居跡：子産石、同遺跡Y3・114号住居跡：土錐、同遺跡Y9号住居跡：ミニチュア・土錐、同遺跡Y72号住居跡：軽石製紡錘車・子産石、同遺跡Y89号住居跡：鉄鏃、同遺跡Y143号住居跡：銅製品、同遺跡Y154A・170・176・231・258号住居跡：銅環・子産石、同遺跡Y154B遺跡：ガラス小玉・子産石、同遺跡Y160・162・201A号住居跡：銅環、同遺跡Y201B住居跡：鉄鏃・銅環、同遺跡Y224号住居跡：ガラス子小玉、同遺跡Y226号住居跡：ミニチュア、同遺跡Y244号住居跡：垂飾状席製品（滑石製）・イノシシ歯・子産石、同遺跡Y265号住居跡：ミニチュア・子産石、横須賀市矢ノ津坂遺跡Y11号住居跡：粘土塊、同市米の台遺跡S107・08・11：土製丸玉、同市三足谷遺跡6a号住居跡：縞物石、同遺跡11a住居跡：勾玉、同遺跡12住居跡：鉄鎌、同遺跡20住居跡：ミニチュア、鎌倉市大倉幕府周辺遺跡雪ノ下4丁目581-5地点23号住居跡：有頭石錐、同26号住居跡：ミニチュア、同30号住居跡：有孔石製品

**庄内併行期：湘南地域**：藤沢市石原谷遺跡第3地点：ミニチュア、同市二伝寺砦遺跡2号住居址：管状土錐、同市若尾山遺跡藤沢市大道小学校内地点7号住居址：刀子？、同8号住居址：鉄鏃・刀子？、同12号住居址：銅鏃、同市大庭城跡3号住居址：銅鏃、同市No.431遺跡：不明鉄製品、同市御幣山遺跡第8号竪穴住居・第12号住居：ミニチュア、同市下土棚諏訪ノ棚遺跡第4次調査：土製勾玉

**三浦半島地域**：三浦市油壺遺跡5号住居址：ヤス（鉄製）、横須賀市高原遺跡Y10B・17・232号住居跡：子産石、同Y171・208A号住居跡：銅鋤・子産石、同Y175号住居跡：銅環、同Y208B号住居跡：銅鏃、横須賀市高原北遺跡：ガラス小玉

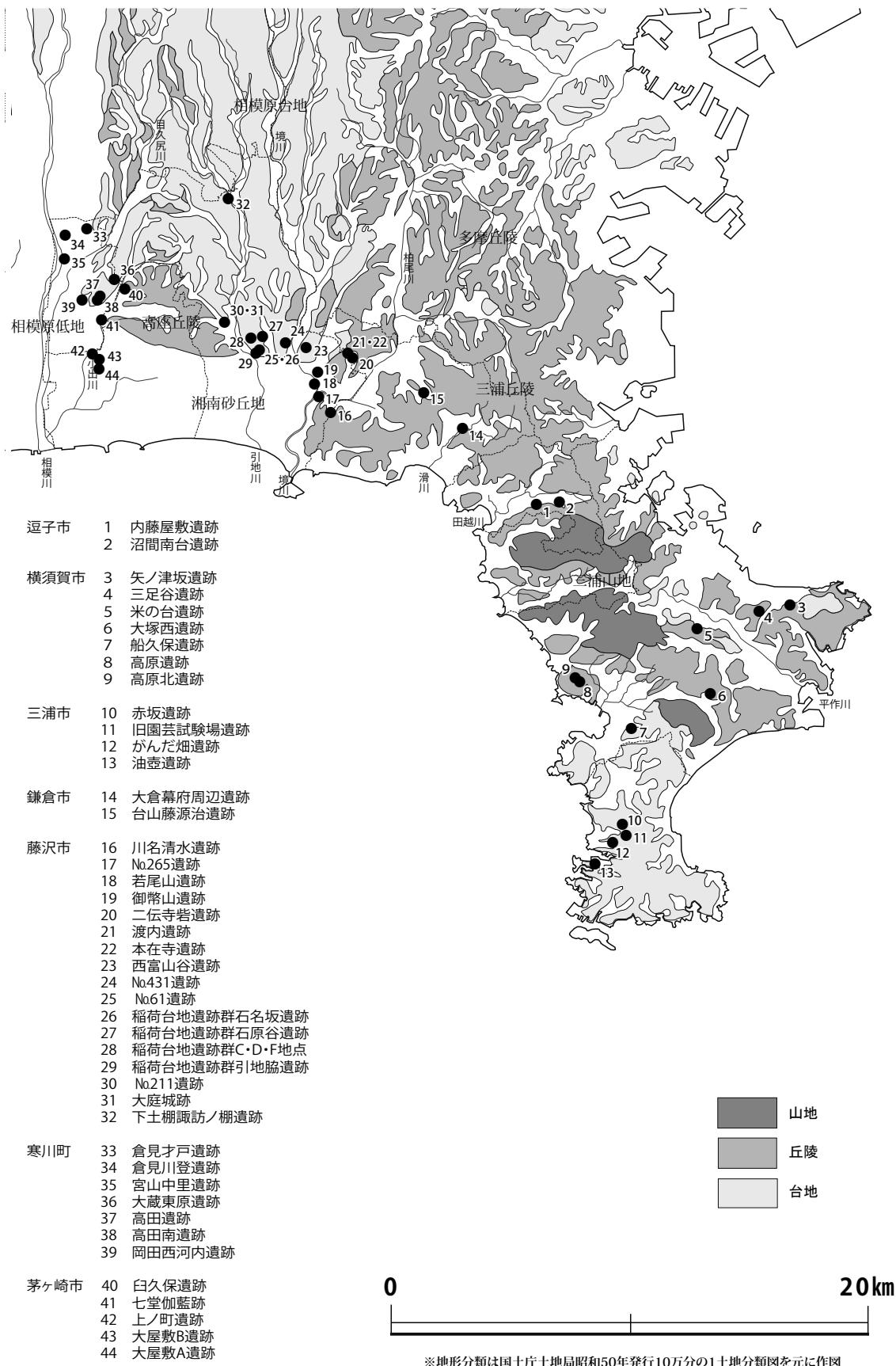
## 弥生時代後期竪穴住居の研究（4）

### おわりに

今回は逗子市・横須賀市・三浦市・鎌倉市・藤沢市・寒川町・茅ヶ崎市・座間市における竪穴住居の集成と分析を行った。今後も神奈川県内における竪穴住居のデータベースの作成作業を継続する。県内各地域または市町村ごとの分析を行ったのち、過去に行った集成のデータを含めて総合的な分析・比較を行う予定である。

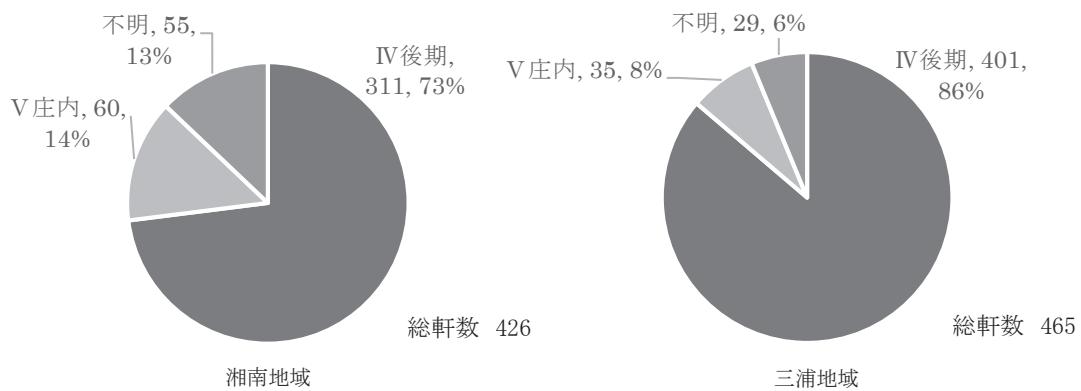
第1表 対象遺跡一覧表

No.	市町	遺跡名	軒数	刊行団体	刊行年	出典
1	逗子市	内藤屋敷	1	逗子市教育委員会	2009	『神奈川県逗子市埋蔵文化財緊急発掘調査報告書6』
2		沼間南台	3	沼間南台遺跡発掘調査団	2004	『沼間南台遺跡（逗子市No.34遺跡）発掘調査報告書』
3		矢ノ津坂	8	財団法人かながわ考古学財団	2006	『高尾横穴墓群矢ノ津坂遺跡』かながわ考古学財団調査報告198
4		三足谷	25	横須賀市吉井田地区埋蔵文化財発掘調査団	1997	『横須賀市吉井・池田地区遺跡群1』
5		米の台	7	山武考古学研究所	1999	『米の台遺跡発掘調査報告書』
6	横須賀市	大塚西	5	横須賀リサーチパーク計画基盤整備事業地内埋蔵文化財発掘調査団	1997	『横須賀リサーチパーク計画基盤整備事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書』
7		船久保	2	株式会社玉川文化財研究所	2014	『船久保遺跡』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書19
8		高原遺跡	299	佐島の丘埋蔵文化財発掘調査団	2003	『神奈川県横須賀市佐島の丘遺跡群発掘調査報告書』
9		高原北遺跡	12	佐島の丘埋蔵文化財発掘調査団	2003	『神奈川県横須賀市佐島の丘遺跡群発掘調査報告書』
10	三浦市	赤坂	64	三浦市教育委員会 三浦市教育委員会 三浦市教育委員会 赤坂遺跡調査団 三浦市教育委員会 赤坂遺跡調査団	2002 2004 2006 2010 2013 2015	『赤坂遺跡-第9次調査地点の調査報告』三浦市埋蔵文化財調査報告第7集 『赤坂遺跡-天地返しに伴う第10次調査地点の調査報告』三浦市埋蔵文化財調査報告第13集 『赤坂遺跡-天地返しに伴う第11次調査地点の調査報告』三浦市埋蔵文化財調査報告第17集 『赤坂遺跡-宅地造成に伴う第17次調査地点の調査報告』三浦市埋蔵文化財調査報告第25集 『赤坂遺跡-宅地造成に伴う第14次調査A地点・B1地点・B2地点の調査報告』
11		旧園芸試験場	3	有限会社吾妻考古学研究所	2013	『旧園芸試験場遺跡』
12		がんだ畑	8	三戸地区埋蔵文化財発掘調査団	2006	『三戸地区遺跡群』
13		油壺	5	三浦市教育委員会	2003	『油壺遺跡』三浦市埋蔵文化財調査報告書第11集
14	鎌倉市	大倉幕府周辺	23	有限会社鎌倉遺跡調査会	2007	『大倉幕府周辺遺跡発掘調査報告書-雪ノ下4丁目581番5地点-』
15		台山藤源治	2	台山藤源治遺跡調査団	1993 1996	『台山藤源治遺跡第3次調査報告』 『台山藤源治遺跡第2次調査報告』
16		川名清水	45	清水遺跡発掘調査団	2000	『藤沢市川名清水遺跡発掘調査報告書』
17		No.265	2	藤沢市教育委員会	2001	『藤沢市No.265遺跡発掘調査報告書』
18		若尾山	9	東国歴史考古学研究所	1999	『神奈川県藤沢市若尾山（藤沢市No.36）遺跡-藤沢市大道小学校内地点-発掘調査報告書』
19		御幣山	16	財団法人かながわ考古学財団	2006	『御幣山遺跡』かながわ考古学財団調査報告202
20		二伝寺砦	21	玉川文化財研究所 東国歴史考古学研究所	1996 1999	『二伝寺砦遺跡発掘調査報告書』 『神奈川県藤沢市二伝寺砦（藤沢市No.215）遺跡-藤沢市渡内3丁目535・536地点-発掘調査報告書』
21		渡内	13	渡内遺跡発掘調査団	1993	『渡内遺跡発掘調査報告書』
22		本在寺	2	藤沢市教育委員会	1998	『藤沢市文化財調査報告』第33集
23		西富山谷	9	藤沢市教育委員会	2012	『藤沢市内埋蔵文化財発掘調査概要集』
24		No.431	5	藤沢市教育委員会	2000	『No.162遺跡・No.102遺跡・No.431遺跡・No.362遺跡発掘調査報告書』
25	藤沢市	No.61	1	藤沢市教育委員会	1997	『藤沢市文化財調査報告』第32集
26		稲荷台地遺跡群石名坂	50	玉川文化財研究所 大成エンジニアリング株式会社	2005 2012	『稲荷台地遺跡群石名坂遺跡-第7次調査-発掘調査報告書』
27		稲荷台地遺跡群石原谷	12	玉川文化財研究所	2005	『稲荷台地遺跡群石原谷遺跡第3地点発掘調査報告書』
28		稲荷台地遺跡群C・D・F地点	69	稲荷台地遺跡群C・D・F地点	1996	『稲荷台地遺跡群発掘調査報告書（C・D地点 F地点 S地点）』
29		稲荷台地遺跡群引地脇	14	藤沢市教育委員会	2012	『藤沢市内埋蔵文化財発掘調査概要集』
30		No.211	3	藤沢市教育委員会	1997	『藤沢市文化財調査報告』第32集
31		大庭城跡	1	藤沢市教育委員会	2018	『神奈川県藤沢市大庭城跡』
32		下土棚諫訪ノ棚	12	玉川文化財研究所 玉川文化財研究所	2009 2017	『藤沢市北部第二（三地区）土地区画整理事業区域内遺跡群発掘調査報告書-下土棚諫訪ノ棚地区第4地点の試掘調査-下土棚大下地区第2地点の試掘調査』 『藤沢市北部第二（三地区）土地区画整理事業区域内遺跡群発掘調査報告書-下土棚諫訪ノ棚遺跡第4次調査』
33	寒川町	倉見才戸	12	倉見才戸遺跡発掘調査団	1999	『倉見才戸遺跡発掘調査報告書-第3次調査-』
34		倉見川登	33	財団法人かながわ考古学財団	2015	『倉見才戸遺跡第4次調査発掘調査報告書』
35		宮山中里	4	財団法人かながわ考古学財団	2004	『宮山中里遺跡』宮山台烟遺跡 かながわ考古学財団調査報告170
36		大藏東原	5	大藏東原遺跡発掘調査団 株式会社アーク・フィールドワークシステム	1997 2011	『大藏東原遺跡第7・8次発掘調査報告書』 『大藏東原遺跡発掘調査報告書-第11次調査-』
37		高田	1	株式会社アーク・フィールドワークシステム	2012	『高田遺跡発掘調査報告書-第5次調査-』
38		高田南	23	玉川文化財研究所	2014	『高田南遺跡発掘調査報告書』
39		岡田西河内	9	(有)吾妻考古学研究所	2012	『神奈川県高座郡寒川町岡田西河内遺跡』
40	茅ヶ崎市	臼久保	45	財団法人かながわ考古学財団	1999	『臼久保遺跡』かながわ考古学財団調査報告60
41		七堂伽藍	4	財団法人かながわ考古学財団	2010	『小出川河川改修事業関連遺跡群茅ヶ崎市七堂伽藍跡(2)』かながわ考古学財団調査報告251
42		上ノ町	3	財団法人かながわ考古学財団	2003	『上ノ町遺跡』かながわ考古学財団調査報告143
43		大屋敷A	1	株式会社アーク・フィールドワークシステム	2010	『茅ヶ崎市西久保大屋敷A遺跡第5次発掘調査報告書』

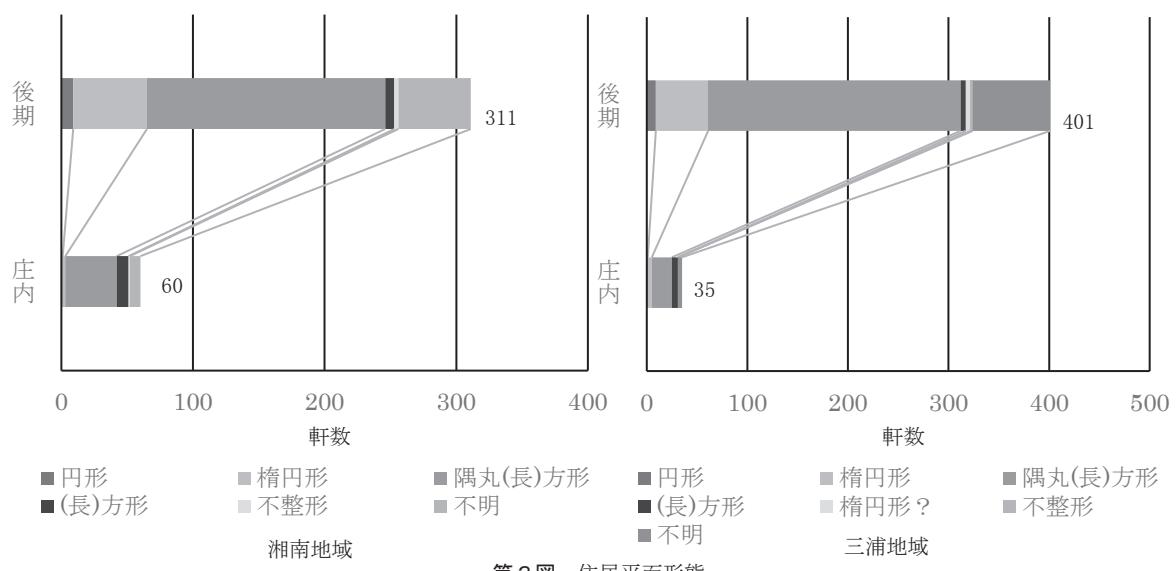


第1図 対象遺跡分布図

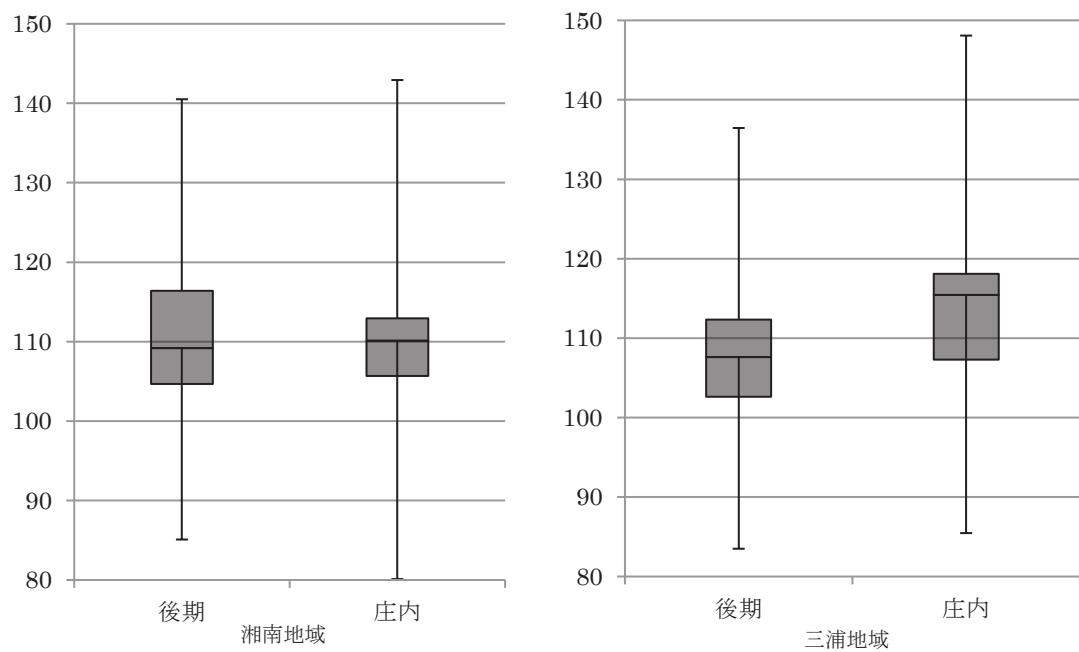
弥生時代後期堅穴住居の研究（4）



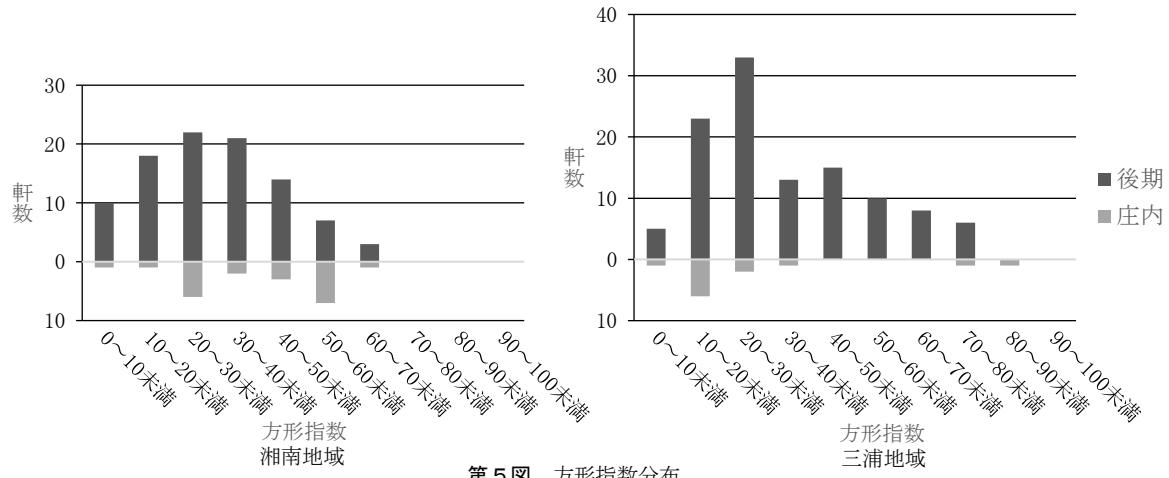
第2図 時期別住居軒数



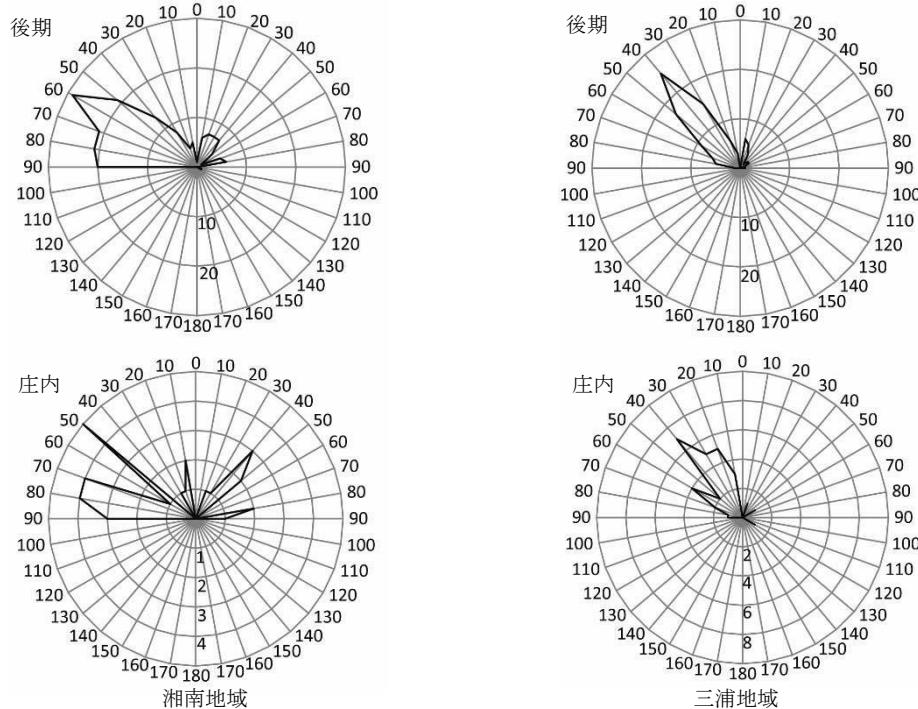
第3図 住居平面形態



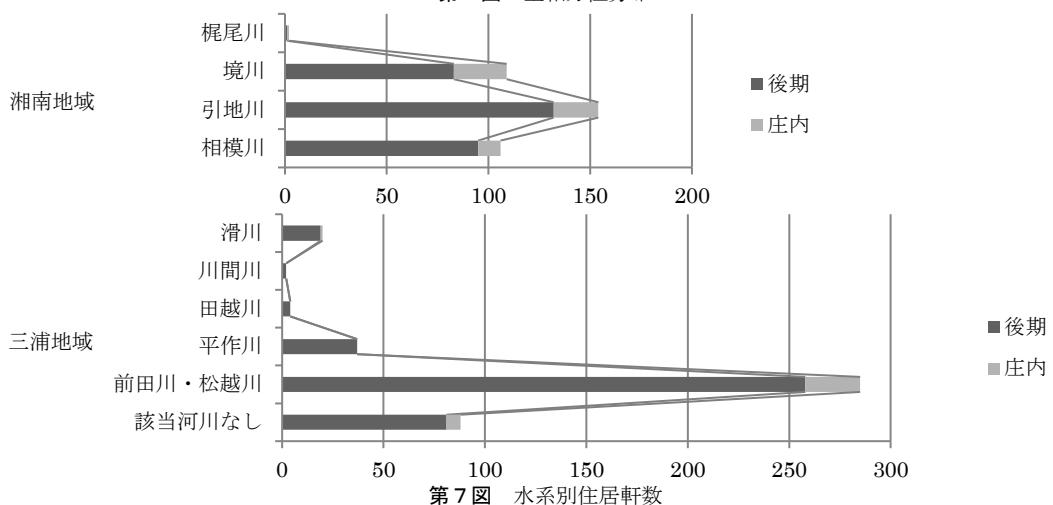
第4図 長短率



第5図 方形指数分布



第6図 主軸方位分布



第7図 水系別住居軒数

弥生時代後期竪穴住居の研究（4）

第3表 炉跡形態

湘南地域

	種別	軒数	確認数/確認総数(%)	確認数/住居総軒数(%)
後期	地床炉	131	73.6	42.1
	枕石炉	21	11.8	6.8
	枕粘土炉	4	2.2	1.3
	粘土板炉	22	12.4	7.1
	小計	178	100.0	57.2

三浦地域

	種別	軒数	確認数/確認総数(%)	確認数/住居総軒数(%)
後期	地床炉	129	46.4	32.2
	枕石炉	140	50.4	34.9
	枕粘土炉	1	0.4	0.2
	粘土板炉	5	1.8	1.2
	その他	3	1.1	0.7
	小計	278	100.0	69.3

	種別	軒数	確認数/確認総数(%)	確認数/住居総軒数(%)
庄内	地床炉	25	80.6	41.7
	枕石炉	1	3.2	1.7
	枕粘土炉	5	16.1	8.3
	粘土板炉			
	小計	31	100.0	51.7

第4表 主柱穴本数

湘南地域

	主柱穴数	軒数	確認数/確認総数(%)	確認数/住居総軒数(%)
後期	0本	50	28.9	16.1
	1本	2	1.2	0.6
	2本	2	1.2	0.6
	4本	119	68.8	38.3
	小計	173	100.0	

三浦地域

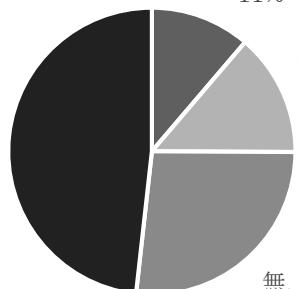
	主柱穴数	軒数	確認数/確認総数(%)	確認数/住居総軒数(%)
後期	0本	2	0.8	0.5
	1本	1	0.4	0.2
	2本	1	0.4	0.2
	3本	4	1.5	1.0
	4本	251	96.5	62.6
	5本	1	0.4	0.2
	小計	260	100.0	

	主柱穴数	軒数	割合(%)	確認数/住居総軒数(%)
庄内	0本	9	28.1	15.0
	1本	1	3.1	1.7
	4本	22	68.8	36.7
	小計	32	100.0	

	主柱穴数	軒数	割合(%)	確認数/住居総軒数(%)
庄内	4本	27	96.4	75.0
	6本	1	3.6	2.8
	小計	28	100.0	

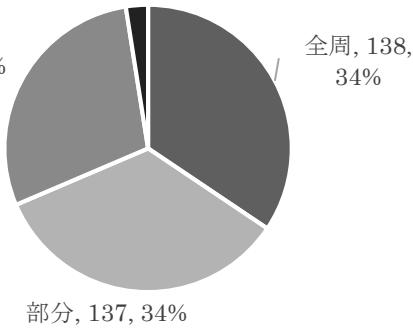
後期

全周, 35,  
11%



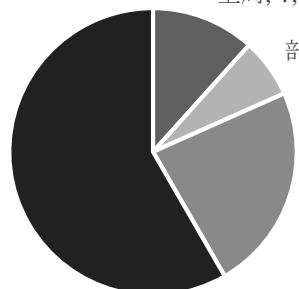
後期

不明, 10, 3%



庄内

全周, 7, 12%



庄内

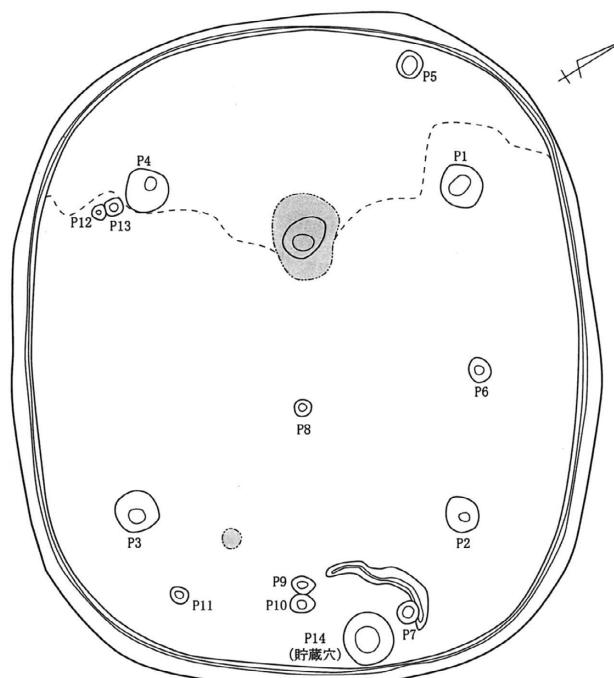
不明, 2, 6%



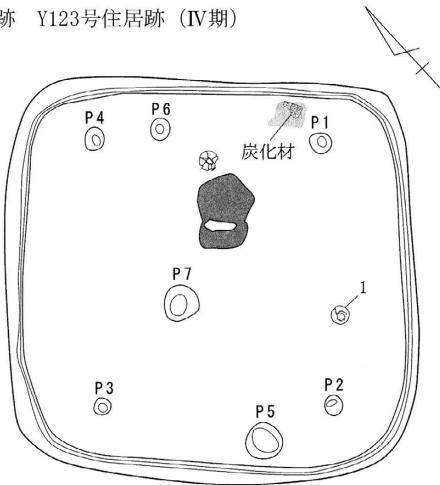
湘南地域

第8図 周溝の有無

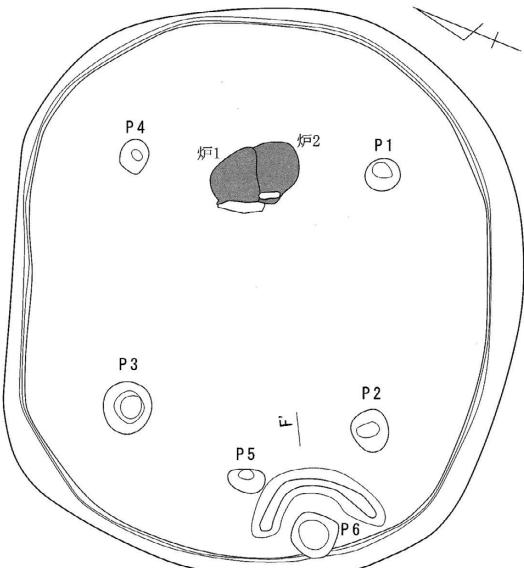
船久保遺跡 Y2号竪穴住居跡 (IV期)



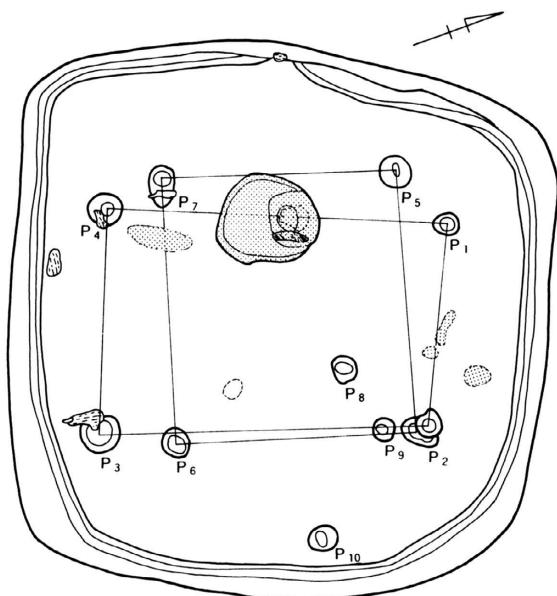
高原遺跡 Y123号住居跡 (IV期)



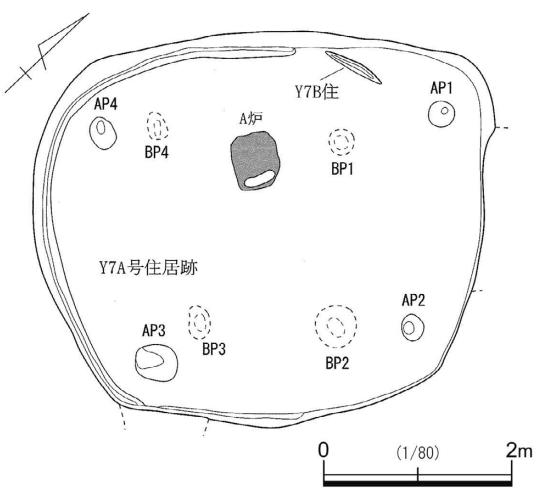
高原遺跡 Y182号住居跡 (IV期)



三足谷遺跡 1号住居跡 (IV期)



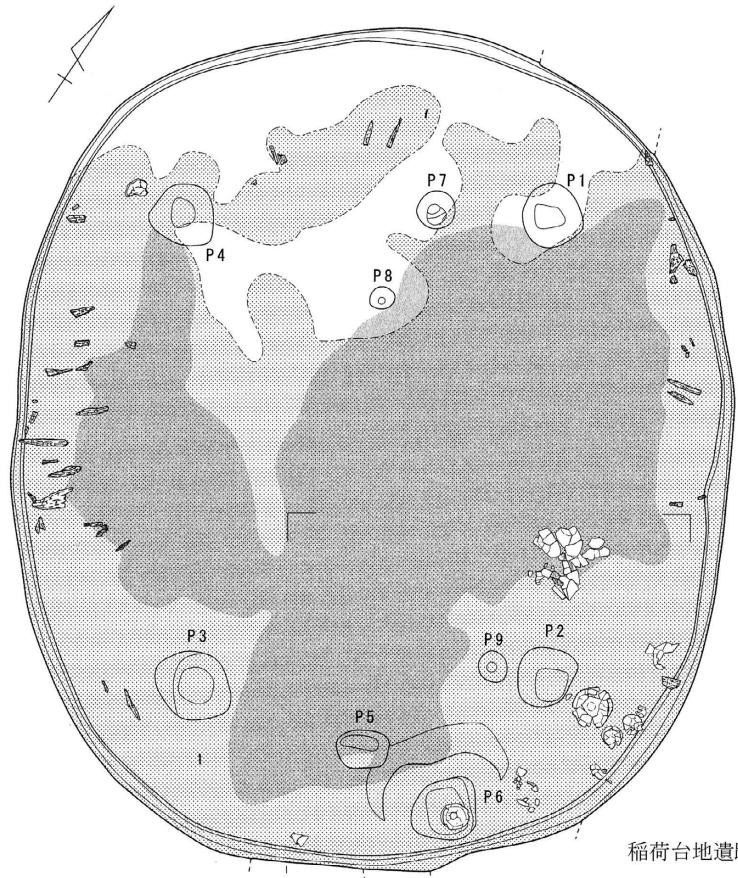
高原北遺跡 Y7A・Y7B号住居跡 (IV期)



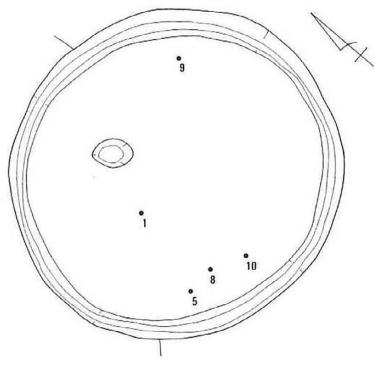
第9図 竪穴住居跡平面図 (1)

弥生時代後期堅穴住居の研究（4）

高原遺跡 Y8号住居跡（IV期）

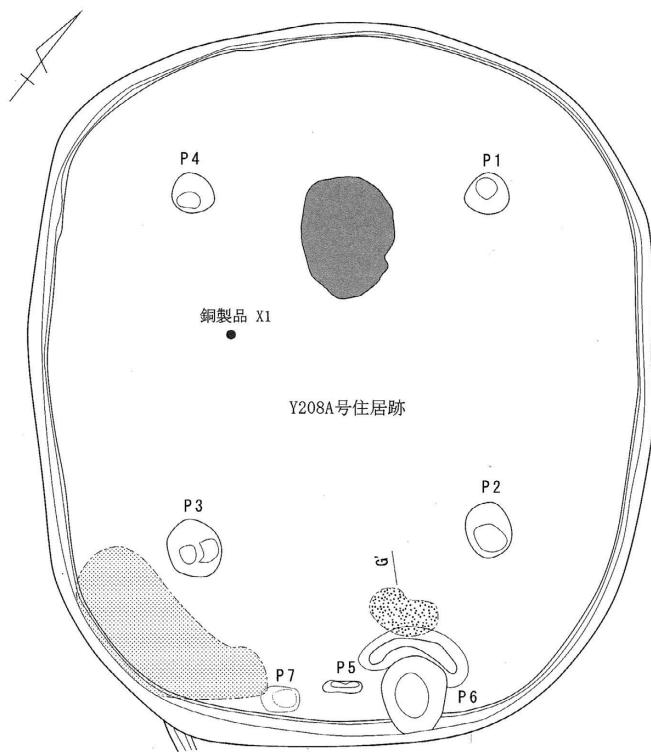


稻荷台地遺跡群F地点 25号住居址（IV期）

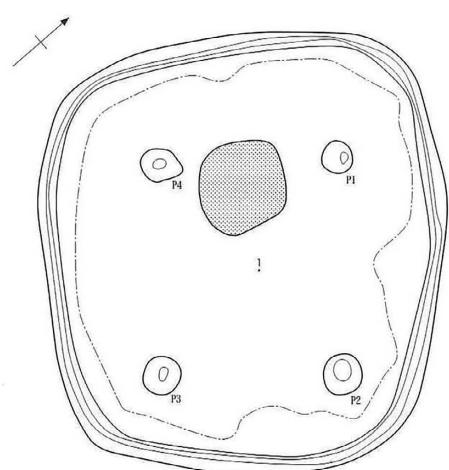


稻荷台地遺跡群石名坂遺跡第7次 16号住居址（IV期）

高原遺跡 Y208A号住居跡（V期）



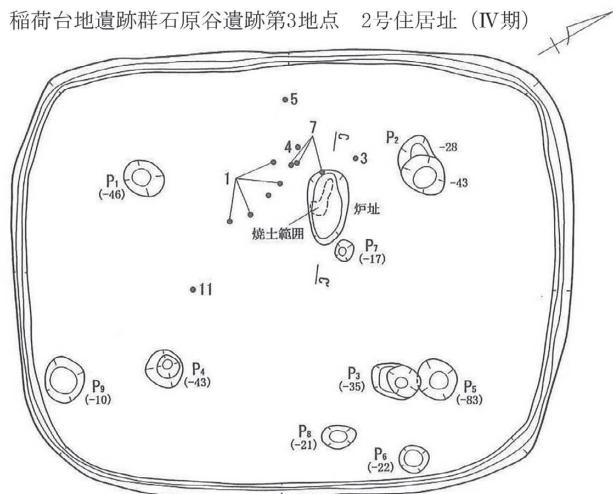
Y208A号住居跡



0 (1/80) 2m

第10図 堅穴住居跡平面図（2）

稻荷台地遺跡群石原谷遺跡第3地点 2号住居址 (IV期)

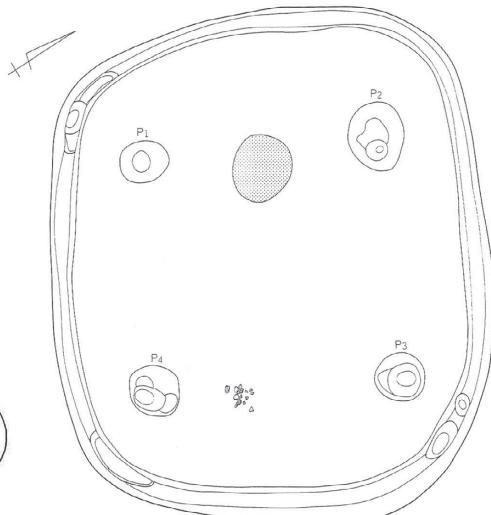
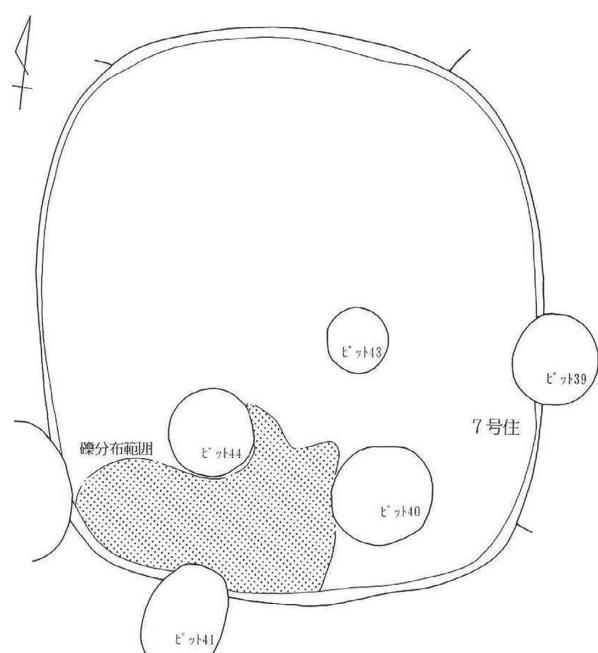


稻荷台地遺跡群C・D地点 24号住居址 (V期)



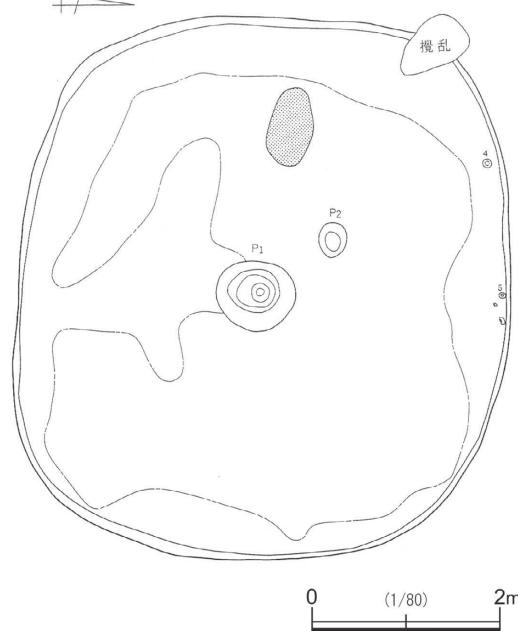
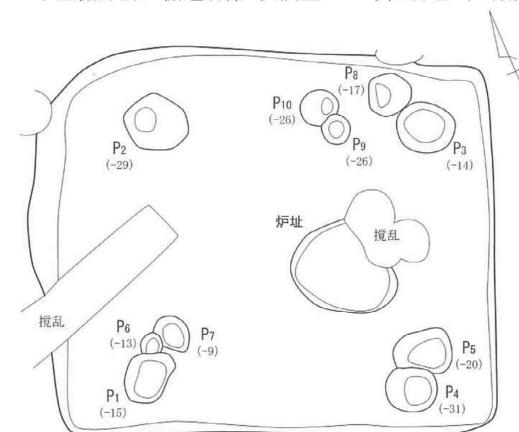
臼久保遺跡 Y43号堅穴住居址 (IV期)

若尾山遺跡 7号住居址 (V期)



臼久保遺跡 Y21号堅穴住居址 (V期)

下土棚諏訪ノ棚遺跡第4次調査 Y2号住居址 (V期)



第11図 堅穴住居跡平面図 (3)